



2026 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ピ リ ッ ツ
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 CEO 和田 順児
(コード番号：4174 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役執行役員 C S O 中 館 博 貴
(TEL 03-6684-5111)

アピリッツ、フィジカル AI 領域への参入

「身体感覚」をデジタルデータ化する技術の研究開発を行う

東京大学発のスタートアップ企業の H2L 株式会社との

資本業務提携に関するお知らせ

株式会社アピリッツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：和田 順児、以下「当社」）は、2026 年 6 月 8 日、H2L 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：玉城 絵美、以下「H2L 社」）と資本業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本提携は、H2L 社で初となる BtoC 向けサービスを研究開発する為の技術提携です。H2L 社が持つ「身体性のデジタル化」技術と、当社の Web やアプリ開発力・サービスデザイン力を組み合わせ、フィジカル AI ソリューションを共同で企画・開発・社会実装することを目的としています。

単なる出資にとどまらず、H2L 社を「フィジカル AI の基盤技術パートナー」として、当社が、その領域でのサービスを、実装・事業化するパートナーとして機能する対等な共創体制を構築します。「身体データを、使われるサービスへ。」というビジョンのもと、スポーツ・ファン体験・施設・技能継承・製造業など多領域への展開を共同で推進します。

1. 出資の目的

(1) フィジカル AI という新たな重点領域の本格推進

当社は、身体データ・AI・アプリケーション開発を統合したフィジカル AI ソリューションを、今後の重点戦略領域として位置づけています。

近年、当社はスポーツ・エンターテインメントを含む複数の領域において、身体性を伴うデジタル体験の可能性を探索し、事業化の検討を進めてまいりました。これらの検討を通じて、身体データや実世

界の動作を扱う技術が、今後のデジタルサービスにおいて重要な役割を果たすとの認識を強めております。

こうした背景のもと、当社はフィジカル AI 領域の社会実装を加速するうえで、H2L 社の技術が不可欠であると判断し、今回の出資を決定しました。

(2) H2L 社が持つ「身体性のデジタル化」技術の独自性

H2L 社は、人間の固有感覚（位置覚・重量覚・抵抗覚など）をデジタル化し、身体の動き・力加減・緊張といった“身体性そのもの”をデータとして扱う BodySharing 技術を世界に先駆けて開発している企業です。同社が構築する技術群は、単なるセンシング技術ではありません。

筋変位センサーによる高精度入力、電気刺激・機械刺激による感覚出力、そして固有感覚・触覚・視覚・聴覚を統合したフィジカル AI トークンは、人間の身体とデジタルをつなぐ“新しいインターフェース”を創り出す基盤技術です。

これは、ロボティクス、スポーツ、医療、製造業など、多様な産業の課題解決に直結する可能性を秘めており、まさに「次の 10 年をつくる技術」と言える領域です。

(3) 当社の技術基盤との高い親和性

当社は、Web サービス・オンラインゲーム開発を通じて、ユーザー体験設計、アプリ・UI 開発、データ基盤構築、課金・会員管理など、“人が使うデジタル体験”をつくる技術を磨いてきました。

一方、H2L 社は、“人の身体そのものをデジタル化する技術”を持っています。

両社の技術が交わることで、これまで存在しなかった新しい体験・新しいサービスが生まれると確信しています。

(4) フィジカル AI ソリューションとの統合による事業展開

当社は、構想整理、PoC/MVP 開発、アプリ・管理画面・課金基盤の実装、商用化後の運用改善まで一貫して担い、H2L 社と共に身体データ技術の社会実装を推進してまいります。

H2L 社の BodySharing 技術は、当社が重点領域として検討を進めるフィジカル AI ソリューションにおいて、以下の領域で重要な役割を果たします。

・スポーツ指導 AI

フォーム・力加減をプロと比較し、BodySharing 技術と生成 AI が改善点を言語化。

フィジカル AI に活用するための身体データ蓄積も可能。

・技能継承 AI

熟練者の手元動作・力加減・タイミングを BodySharing 技術でデータ化し、生成 AI が暗黙知を言語化。動画教材では伝わらない技能を継承可能に。

・ファン参加型体験

身体の動きや力加減をリアルタイムに共有し、新しいエンターテインメント体験を創出。

・施設向け AI 測定メニュー

身体データを活用した測定・評価・トレーニングを提供。

(5) 身体性・スポーツ領域に関するこれまでの検討と知見の蓄積

当社は昨年、スポーツ領域における AI 活用の可能性を探索する中で、株式会社 SportsTech Japan へマイノリティ出資を行いました。同社との協業検討を通じて、スポーツ指導における課題や身体性を伴うデジタル体験に対する市場の関心を把握してまいりました。こうした検討を通じ、身体データや動作情報を扱う技術が、デジタルサービスの高度化において重要なテーマであるとの認識を深めております。

H2L 社の技術は、こうした身体性領域に関する理解をさらに発展させ、より深いレイヤーで身体そのものを扱うための基盤となるものであり、当社が重点領域として推進するフィジカル AI ソリューションの技術的な幅と深さを拡張する存在として位置づけています。

2. 出資先の概要

企業名	H2L 株式会社
代表者名	代表取締役 CEO 玉城 絵美
住所	東京都港区六本木 3 丁目 4 番 21 号
設立	2012 年 7 月
資本金	396,005 千円（2026 年 5 月末時点）
事業内容	・ BodySharing 技術の研究開発 ・ 筋変位センサー等のハードウェア開発 ・ フィジカル AI トークンの研究開発 ・ 体験共有サービスの企画・開発・提供
当社の出資額	20,800,000 円
当社の議決権保有割合	持分法適用会社となる基準未満（出資先の意向により、具体的な持分比率は非公表といたします。）

3. 今後の見通し

今回の出資は、当社グループの業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、H2L 社との共創によって生まれる新たな事業領域は、中長期的に当社の成長に寄与する可能性があると考えております。

今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アピリッツ

経営企画室 IR 担当：中館 博貴

TEL：03-6684-5111 （受付時間 平日 10：00～19：00）

メールアドレス：ir@appirits.com

以 上